

# 予 算 要 求 資 料

令和 2 年度 9 月 補正 予算

款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

## 事業名 美術館緊急浸水対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

岐阜県美術館 総務部 管理調整係 電話番号：058-271-1313

E-mail：c21801@pref.gifu.lg.jp

### 1 事業費 補正要求額 21,028 千円 (現計予算額：0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	21,028	0	0	0	0	0	0	0	21,028
決 定 額									

### 2 要求内容

#### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

令和 2 年 2 月の豪雨により床下浸水が発生し、館内での作品保管に支障が生じたため、今後同様の被害が発生しないよう確実な防水対策の実施が必要となっている。

#### (2) 事業内容

美術館の床下浸水から作品を保護するため、作品を別の場所で、適切に保管する。また、防水対策を行った後の美術館に再び作品を移動する。

#### (3) 県負担・補助率の考え方

美術館の作品保管・展示機能を維持するため、県の負担は妥当である。

#### (4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	371	作品移動・保管にかかる旅費
需用費	677	保管環境を整えるための消耗品費
使用料及び 賃借料	9,248	作品保管に要する施設使用料
委託料	10,732	作品移動費、作品保管費
合計	21,028	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

- ・「長期構想」の「V-5ふるさとへの誇りと愛情を育てる」
- ・「第2次教育ビジョン」の「基本目標2(4)ふるさと教育・環境教育・体験活動の推進」及び「基本目標5(1)文化活動の推進、(2)文化財の保存・活用の推進」

#### (2) 後年度の財政負担

無

#### (3) 事業主体及びその妥当性

岐阜県美術館は、芸術的価値の高い美術品並びに美術資料を収集保存し、調査研究を進め、その成果を展示公開している。年間約20万人の利用者に落ち着いて美術を楽しむことができる環境を整備する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

浸水した箇所及び浸水の危険がある箇所の改修を行うことにより、県民共有の財産である収蔵品の適切な保全管理を行い、安全安心な施設環境づくりを目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
		(H )	(H )			
	(H )	(H )	(H )	(H )	(R )	%

○指標を設定することができない場合の理由

美術館の作品を保護管理するための経費であり、その性質上、指標を設定することが困難なため。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い	
(評価) ○	県民共有の財産である収蔵品の適切な保全管理に必要である。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある	
(評価)	

### (今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 収蔵品の適切な保全管理のため、計画的に改修を実施し、安全安心な環境を整備していく必要がある。
--

### (次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県民共有の財産である収蔵品の適切な保全管理に努める。
---